

Let's shine together now!

あなたも輝く
晴れの国
女子

おかやま★輝く女性★未来設計応援

女性の未来設計を応援！
～企業の女性活躍に向けた環境づくりのヒントも～

SPECIAL
INTERVIEW FILE
Vol.3

GO!

Let's shine together now!

あなたも輝く★ 晴れの国女子



P.3

岡山県警察本部
入署26年

刑事部捜査第一課
警部



P.5

ノートルダム清心女子大学
着任9年

人間生活学部人間生活学科
准教授



P.7

(株)おもちゃ王国
入社1年

運営部エンターテイメント



P.15

(株)岡山村田製作所
入社12年

第2製造部
生産企画課



P.17

(株)ニッチ
入社10年

アウトドアサポートグループ
リーダー



P.19

おかやま信用金庫
入庫34年

荘内支店
支店長

岡山県内の様々な業種・職種・キャリアステージで活躍する女性をロールモデルとして紹介♪
 悩みや壁を乗り越え、イキイキと活躍する魅力あふれる女性「目指してみたい」と思える女性に出会えます♪
 仕事のやりがい、仕事と生活の両立方法、将来のキャリアプラン、これから輝きたい女性へのメッセージなどあなたの未来設計へのヒントがたくさん詰まっています☆



学芸課 学芸課長 / 学芸員

P.9

公益財団法人 大原美術館
入社18年



第一営業部 広報担当

P.11

岡山シーガルズ(株)
入社13年



アマノブランド企画室 副課長

P.13

アサヒグループ食品(株)
入社32年



購買部購買課

P.21

片山工業(株)
入社3年



マスターウォールファクトリーショップ店長

P.23

AKASE(株)
入社10年



レベニューアナリスト / Webセールスマネージャー

P.25

ANAクラウンプラザホテル岡山
入社16年



被害者の心に寄り添い、必検も期して全力で犯人に立ち向かう。

事件捜査の指揮を執り、犯人検挙に全力を尽くす。

岡山県警察本部刑事部捜査第一課は、殺人・強盗・強制性交等・強制わいせつ・略取誘拐といった凶悪事件をはじめ、身元不明遺体の身元確認や事件性の有無を判断する検視、DV・ストーカー・児童虐待など身近に潜む事件などの捜査を行っています。私の仕事は主に、県下で発生したDV・ストーカーなどの事件に、子ども女性安全対策課などの関係課と連携して対応することです。その他にも、県下で発生した性犯罪事件の捜査指導にも当たっています。特に、性犯罪事件捜査に携わる捜査員に対し、被害者の心情に配慮した指導をしています。被害者とその家族が少しでも安心できるよう、そして、新たな被害を出さないために、1分でも早い犯人検挙に向け、私たちは必検を期して全力で犯人に挑んでいます。事件が発生すれば、被害者は本当につらい思いをします。被害者やご遺族の心の傷が癒えることはないかもしれません。それでも私たちは強い気持ちで捜査に全力を尽くし、必ず犯人を検挙します。なぜなら、それが私たち刑事警察の「使命」であり、私たちにしかできない仕事だからです。さらに、被害者の気持ちに寄り添い、被害者が自分らしい人生を送れるよう、被害者のご家族や恋人、パートナー、職場などにも配慮した多面的なフォローに努めています。

子育てをしながら捜査第一課の管理職へ。 — ターニングポイント —

中学生の頃、「警察官になりたい」と思い始め、高校入学後、「柔道経験があると採用試験で有利」と担任から勧められたのがきっかけで、少しでも夢に近づこうと柔道をはじめたところ、全国大会を経験しました。大学卒業と同時に警察官を拝命し、柔道の選手として試合に出場していましたが、その後、交番勤務などを経て平成12年、刑事課に異動となり、火事や変死を扱う係に配属されました。しばらくの間、業務に慣れずつらい気持ちで落ち込む一方でしたが、ご遺体や現場の状況から事件性の有無を判断するなど、検視は事件捜査の基礎であり、重要な仕事だと気づき「これは運命だ」と現状を受け入れ、仕事に専念し、刑事に必要な知識と経験を蓄積することができました。警察官である夫と結婚し、出産した後も、刑事警察に継続して携わり、夜中の緊急呼び出しや休日勤務、犯人を追って県外を走り回り、何日も家に帰れないことが何度もありました。そんな時は私の母親に育児を任せていましたが、子どもが病気になった時には早退したり、休暇を取得することもありました。私は、「私が休むと同僚や上司に迷惑をかけてしまうのではないかと、私が仕事を続けることで子どもたちにプラスになることはあるだろうか」と悩み、何度も仕事を辞めようとしたのですが、そんな時に母が「もう少し頑張ってみたら、子どもたちはちゃんと見てくれているよ」と励ましてくれました。また、当時の上司も「休んでいい。あとの仕事は任せてくれ。子どもが元気になったら頑張ればいい」と言ってくださり、周囲の理解と支えがあったから刑事を続けられました。その頃は管理職になることは考えていませんでしたが、長女が小学校へ入学し、少しだけ仕事に自信が持てるようになったので、母に「私、頑張ってみようと思う」と相談すると、家族も応援してくれました。以後、階級が上がる都度、高い捜査能力や責任が求められるようになりましたが、上司や同僚に支えられながら実績を積み重ねて自信をつけていきました。

退官まで事件捜査の第一線で頑張り、若手を育成したい。

警部になってからは事件捜査の指揮を執っています。捜査の成否は指揮能力に大きく左右されるので、これまで培ってきた捜査経験を発揮することができるポストではありますが、事件に着手する時期や捜査の方向性などを見誤れば、課員の努力が事件解決に結びつきません。事件として捜査できない場合でも被害者が納得できるよう、具体的な対応について判断するのも私の役目です。責任は重大ですが、私はこの仕事に「使命」を感じています。退官まで刑事警察で頑張り、同時に、若い警察官に刑事警察の醍醐味を伝え、「岡山の治安を担っているのは自分だ」と豪語できるくらいの仕事ができる、そんな有望な人材を育てたいと思います。たとえ異動等で刑事警察を離れる日が訪れても、県民から信頼され、悪と対峙できる強い警察を示し続けたいです。



ワークライフバランスをとる
 バランスを崩すと仕事も止まる。
 率先して仕事と生活を調和させる。

「刑事は休めず、育児も家庭も回らないから辞めたい」と悩む人は女性にも男性にもいます。しかし実際、一人休んでも仕事は回りますが、無理を続けた部下が突然、倒れると仕事は止まります。可能な時間に行ける仕事を頑張ればいいのです。部下には男女共、家庭や生活を守るよう指導していますし、私も率先して休みます。ワークライフバランスの推進は管理職の大きな役目です。



仕事で最も大事なことはチームワーク
 互いに仕事を共有し、フォローし合う体制や雰囲気は管理職がつくる。

長年の経験から、職場に風通しのいい雰囲気をつくり、互いにカバーし合える体制ができるとチーム内は安定し、人の和が醸成され、能率も向上します。しかし、課題を理解してサポート体制を整えること、見極めることは管理職の仕事です。誰にも悩みを言えない部下もいるので、私は異動した際、最初の顔合わせ時に「何でも言える職場にしよう。皆に知られたくないことは私に伝えて。」と宣言しています。



有給休暇を利用して子どもの応援へ
 学校や家族の行事などプライベートを優先して気持ちをスッキリさせる。

昔は刑事になるとなかなか休めませんでしたが、近頃は学校行事や子どもの野球の試合などに合わせて休暇を取得できます。私もママ友と一緒に子どもの試合の応援に参加しています。子どもたちに気持ちが届くよう、男性陣に負けられないような大声で歌って応援すると自然と笑顔になります。今は新型コロナウイルス感染症対策で声を出せませんが、子どもの頑張る姿を目の前で見られるだけでも幸せです。柔道を頑張っている長女の応援に行くのも楽しみです。

ある1日のスケジュール

- ★5:00 起床
- ★5:10 朝食準備、自分のお弁当作り、犬の散歩
- ★7:00 出勤
- ★7:30 県下で発生した事件の確認、報告準備など
- ★8:30 朝礼、始業 各署が扱う事件検討、事件指導など
- ★12:00 昼食
- ★13:00 各署が扱う事件検討、事件指導など
- ★15:00 人身安全関連事案の発生確認、事件指導
- ★18:00 退庁
- ★19:00 買い物、帰宅
- ★19:30 犬の散歩
- ★20:30 夕食準備
- ★21:30 夕食
- ★22:30 翌日の夕食の下ごしらえ
- ★23:30 入浴、TVのニュースを見て全国の事件発生を確認
- 24:00 就寝



岡山県警察本部
 刑事部捜査第一課 警部
清水 昭子さん
 52歳

[将来の夢]
 ロードバイクに乗って全国各地を旅すること!

[プライベート]
 子どもたちの試合応援、
 犬の散歩
 [リラックス法]
 整骨院に通う

[上司(次長)からの一言エール]

常に「明るく、正しく、温かく」、職場の雰囲気づくりの中心となっている清水さんですが、県下で凶悪事件が発生すれば、犯人を逮捕すべく迅速かつ的確な指導力を発揮しており、捜査第一課には欠かすことができない存在です。また、家庭では強く優しくたくましい母親として、頼りになる妻として輝いています。今後も、職場と家庭、いずれにおいても使命感を持って活躍し続けてほしいと思います。職場としても全力でバックアップします。

取材協力：岡山県警察本部
 所在地：岡山市北区内山下2丁目4番6号
 HP：<https://www.pref.okayama.jp/site/kenkei/>





人間性豊かな人材を育成し、研究成果も地域の社会福祉に還元したい。

社会福祉の研究と講義を行い、福祉分野で活躍する人材を育成する。

ノートルダム清心女子大学人間生活学部人間生活学科は、人間・福祉・生活・経営・環境を研究テーマとし、幅広い教養を身につけて社会で活躍するジェネラリストを養成しています。私は、社会福祉学研究室で教鞭を執り、社会福祉士などを目指す学生を指導育成し、卒業論文研究の指導も行っています。自らのテーマ「高齢者福祉（要介護高齢者への関わり、認知症患者へのサポート、エンド・オブ・ライフケアなど）」に関する研究も進めています。その他、学内では教務や入試など大学運営に関わる会議や委員会活動にも参画しています。一方、社会福祉に関心がある学生に対し、福祉現場だけでなく多様な施設や被災地、地域におけるボランティア活動やフィールドワークなど、さまざまな機会を提供することも私の仕事だと考えています。私が学生と一緒に課外活動を実践し、共に学び、考え、議論することによって、学生は安心できる環境で経験に基づく知識や教養を身につけられるからです。私も学生の成長を間近に見られるし、やりがいを実感できます。学生から刺激を受けて向上心も高まりますし、自身の研究や考察を一層深めることもできます。

働きながら大学院で学び、専門性を高めて研究の道へ。 — ターニングポイント —

私はノートルダム清心女子大学を2004年3月に卒業し、高齢者福祉施設（介護施設）に入職。生活相談員として施設の利用者さんやご家族の相談に応じ、介護現場や各種制度との橋渡しの役割を担っていました。さまざまな相談に関わる中で自分の知識不足を痛感し、働きながら大学院で学び直す選択をしました。近年、随分と労働環境は改善されていますが、当時は生活相談員という立場もあり、かなり多忙な毎日を送っていました。なかなか大学院の勉強に時間を割くことができず、「このままでは仕事も勉強もダメになってしまう」と考え、他の要因もあり、まずは勉強に専念しようと退職しました。大学院では、福祉の歴史やケアの倫理、死生学などについて深く考察しました。それらの学びは福祉実践に重要な示唆を与えるものばかりで、新しい知識を得るたび「あの時、こんな風にできていたら」と反省させられました。そんな時、故・葛生栄二郎先生から母校の助教を勧められたのです。現場に戻りたい気持ちとの葛藤は大きかったのですが、私一人が現場で働くこと以上に、「養成した大勢の人材がそれぞれの施設や現場で活躍してくれることの方が社会への貢献度は大きい」という恩師の言葉で決心し、2011年に着任。講義を行いながら実習先やボランティア活動の受け入れ先の開拓や関係づくり、自身の研究活動を続け、9年間で多くの福祉人材を養成。助教から講師、准教授へとステップアップしてきました。

現場を知る研究者として、地域社会と社会福祉に貢献したい。

「福祉現場に復帰したい」という気持ちは今も変わりません。しかし、より良い社会福祉を実現するには、理論とデータに基づき、制度改革や労働環境の改善など、現場が求めるニーズを広く社会に働きかける必要があります。研究者にはその役割が求められます。まだまだ十分な役割を果たすことはできていませんが、これからの目標として頑張っていきたいと思います。卒業生の悩み相談にも随時応じ、現場の声を聞いています。学生の施設実習先で活躍している卒業生と再会すると、その仕事ぶりに感心することが多く、彼女たちのためにも「もっと頑張ろう」と励まされます。現場の方に卒業生の頑張りを褒められることは、さらに嬉しく、やりがいになっています。最近、ようやく心に余裕を持てるようになり結婚しました。現在は、コロナ禍にあり遠隔授業や卒論指導など、さまざまな変革に追われていますが、これからは自分の研究活動にも注力し、博士号の取得に向けて頑張りたいと思います。そして、現場を知る研究者として、また人材育成の観点から発言力を高め、より良い地域社会と社会福祉の実現に向けて貢献できるよう、成長していきたいと思っています。



探究心、好奇心、感謝がキーワード
 仕事を通じて人間的に成長できる。
 福祉の仕事は魅力とやりがいに満ちた仕事。

福祉の仕事には人の数だけ対応策やアプローチの方法があり、クリエイティブな発想や探究心が求められます。また、多様な専門スタッフと協力し合うチームケアによって毎日が学びや発見の連続。自分たちが頑張ったことが利用者さんの笑顔につながるなど手応えも多く、直接、感謝の言葉をいただいたり、落ち込んでいたらなぐさめてもらえたり、心の交流によって人間性を養える仕事でもあります。



社会福祉を目指す後進に希望を与えたい
 内面を磨き、つながりを大切に。
 自分自身の可能性に蓋をしない。

私は在学中、マザー・テレサと親交があった故・高塚延子先生らの指導を受け、社会福祉に携わる人の考え方や生き方に感銘を受けました。故・渡辺和子前理事長の教えにも影響を受け、「見た目の美しさとは異なる、内面から醸し出される美しさ」や「一つひとつの出会い」を大切にしています。母校の卒業生でもあり、現場を経験して大学院で学び、指導者となって研究活動を続ける私の姿が、学生の良き目標となれるよう頑張ります。



多忙でも時間を作って生け花教室へ
 社会人になって習い始めた生け花は
 花を眺めてほっとする癒しの時間。

高齢者福祉施設で働いていた頃、施設の環境を整えようと自己流で花を飾っていたのですが、「もっと上手に生けたい」と思って専敬流いけばな教室に通い始めました。今も月2回のペースで稽古に通っています。花に集中すると、その時間だけでも無心になれて気分をリフレッシュできるし、花の美しさや香りに癒されて元気になります。花をじっくり見ることは観察力の向上にもつながるからオススメです。

ある1日のスケジュール

- ★6:30 起床、身支度、朝食
- ★7:00 移動
- ★8:00 大学に到着
- ★8:30 メールチェック
- ★9:00 講義(90分単位)
- ★12:15 昼休憩・昼食
- ★13:00 学外で打ち合わせ
- ★16:00 研究室で仕事
- ★18:30 帰宅
- ★19:00 夕食の準備
- ★19:30 夕食
- ★20:30 読書、映画鑑賞
- ★23:00 入浴

24:00 就寝



ノートルダム清心女子大学
 人間生活学部 人間生活学科
 准教授
濱崎 絵梨さん
 38歳

[将来の夢]
 宇宙旅行、世界旅行
 [オススメの本]
 『福祉の哲学』阿部志郎
 『「ゆらぐ」ことのできる力
 ゆらぎと社会福祉実践』尾崎新

[自分磨き術]
 生け花(専敬流)
 [リラックス法]
 おいしいものを食べること
 人とコミュニケーションをとること

【学生からの一言エール】

黙っていても存在感があり、物事の善悪や自分の意見・気持ちについてはっきり正直におっしゃるので最初は「ちょっと厳しい」という印象を持っていました。でも、先生と接しているうちに「学生一人ひとりのことをすごく気にかけてくれている」という思いやりを強く感じ、愛情を厳しさに誤解していたのだとわかりました。先生は、よく笑い、パワフルで、人の何倍も働いていて尊敬しています。働き過ぎが心配なので少し休んでほしいと思います。

取材協力: ノートルダム清心女子大学
 所在地: 岡山市北区伊福町2-16-9
 HP: <https://www.ndsu.ac.jp/>





Interview 03

Ayaka
Osada

age.20

運営部エンターテイメント

細やかな対応ができるゲストサービススタッフになりたい。

“おもちゃ”のテーマパークでゲストサービスや施設管理、イベント進行などを担当。

日本初の“おもちゃ”のテーマパーク「おもちゃ王国」は、「見て、触れて、体験できる遊びの創造ランド」をコンセプトに、人気のおもちゃブランドや木のおもちゃ、アクションゲームなどをテーマにした18種類の「おもちゃパビリオン」と19種類のアトラクションを展開しています。私は「あやかおねえさん」として、お客様をゲートでお迎えしたり、お見送りしたり、園内のご案内や接客業務、そのほか、ステージイベントの進行係や音響機器の操作、キャラクターと一緒にダンスも行います。専属のパビリオンで、お子様と一緒に遊んだり、遊び方で困っているお子様に優しく声かけしたり、様子を見ながらお子様たちにも関わっていきます。「おもちゃ王国」は「子どもが主役」の施設なので、お子様目線の運営・行動を一番に心がけ、きれいな言葉づかいや丁寧な立ち居振る舞いができるよう、日々、上司や先輩から勉強しています。さらに、おもちゃパビリオンの管理業務、イベントの企画立案、おもちゃの選定や注文も行います。現在は、新型コロナウイルスの感染防止対策としておもちゃの消毒管理も毎日、行っています。

子どもが好きだから苦手なステージ進行係にも挑戦。 — ターニングポイント —

私は幼少時から「おもちゃ王国」が大好きで、小学校4年生頃まで、家族みんなでよく来ていました。子どもが好きで、子どもに関わる仕事を探していたので、楽しい思い出が詰まった「おもちゃ王国」で今度は自分が子どもたちを楽しませる側になりたいと思って入社。新入社員研修で社内の業務をひと通り経験できたので、子どもと接する機会が一番多い運営部エンターテイメントを希望しました。人見知りの私は最初、予想以上にお客様と会話することが多くて戸惑いましたが、先輩の言動を見習うことで慣れていきました。すると、今度は上司と先輩から、ステージでマイクを持って話す進行係(MC)をやってみないかと勧められたのです。「できない」と思う反面、お子様たちを夢中にさせるMCに憧れていたもので、思い切って挑戦することにしました。いきなりステージには立てないので、事前に上司や先輩の前でOKが出るまで何度もMCのセリフの練習を繰り返し、いざ、ステージに立つと予定通りに進行しない場面で慌てて、笑顔が消えてしまうなど課題ばかりでしたが、先輩に「自分が楽しまないとお子様たちも楽しくないから、楽しもう。場数を踏めば上手くなるよ」と励まされ、少しずつ楽しめるようになっていきました。冬には1年で最大のイベント「クリスマス おもちゃ大抽選会」のMCを任せてもらえ、立ち見も合わせて約300名のお客様の前でイベントを無事に進行できたことをきっかけに、少し自信が持てるようになりました。

先輩を指導できるようになり、できるだけ長く働き続けたい。

今年は新型コロナウイルスの影響で春から夏まで臨時休園となり、自宅待機や研修が続き、その期間を利用してスタッフみんなで話し合い、休園中でもお客様たちを楽しんでいただけるよう、おもちゃ王国の仲間たち(キャラクター)と一緒に踊るダンス動画などを作って「YouTube」にアップしたり、感染防止対策を徹底しながらも楽しめるおもちゃを選んだりしました。再開後も、毎日の「お誕生日会」など、非接触でも満足していただけるイベントを考え、みんなで工夫しながら運営しています。ゲストのお子様から帰り際に「楽しかった!」「また来たい!」という言葉が聞けることが何よりの喜び。まだ上司や先輩に教わることも多いのですが、教わったことは確実に身につけ、自分自身も勉強を続けながら目の前のことに一つずつ丁寧に取り組み、様々なことに細やかに対応できるゲストサービススタッフを目指しています。そして、先輩たちを育成できる立場になることが今の目標です。将来的には、規模の大きいイベントも企画したいです。また、「おねえさん」の仕事に定年はないので、結婚して産休・育休を取得して復帰し、できるだけ長く続けたいと思います。



苦手なことでも、まず、やってみる
与えられた仕事に手を抜くことなく、
一つひとつ丁寧に取り組むことが大切。

入社までダンスは未経験。人前に出るのが苦手だったので、自分がステージで踊れるようになるとは思っていませんでした。でも、先輩の振り付け動画を見て覚え、自主練習を重ね、何度もステージを経験し、今ではダンス動画にも出演しています。経験を積み自信につながり、もう苦手ではなくなります。つまり、苦手を克服するには、与えられた仕事に手を抜かないこと。目の前の仕事の一つひとつ丁寧に取り組むことが大事だと思います。



子どもと関わり合うプロを目指す
認証資格取得を目標に学ぶことで
自分に自信が持てるようになる。

「おもちゃ王国」の社員は、一般社団法人教育支援人材認証協会の「こどもパートナー」講座を受講し、認証資格を取得します。短期大学や大学などでも実施される講座で、休園日の出勤時間などを活用し、子どもとの接し方や、子どもを取り巻く現在の環境などを幅広く学び、子どもと関わり合う力を身に付け、教育支援人材としての基礎的な知識を学びます。子育てや地域の活動などに参加する際など、今後の人生に役立つ内容です。



料理が上手になると段取りも上手に
次の作業を考えながら調理するから
効率の良い仕事の進め方が身につく。

高校の頃から毎朝、自分でお弁当を作っています。インターネットの料理レシピをスマートフォンで見ながら、いろんな献立に挑戦するうち、限られた時間内でおいしく仕上がったり、失敗したりを繰り返して、手順通りに作ることや準備、段取りの大切さを痛感。片付けながら調理するなど、作業を同時進行するコツをつかむと、「これは仕事にも通じる」とひらめき、仕事も段取り良く、次を考えながら進めるようになりました。

ある1日のスケジュール

- ★7:00 起床、朝食・お弁当づくり
- ★8:00 出勤
- ★8:30 出社
- ★9:00 朝礼、開園準備
- ★10:00 開園、お客様のお迎え
- ★11:00 ステージイベント
- ★13:00 昼休憩・昼食
- ★14:00 パビリオン対応、ゲストと遊ぶ
- ★17:00 閉園、おもちゃパビリオンの片付け、おもちゃの消毒等
- ★17:30 ミーティング
- ★18:00 終業
- ★18:30 退社
- ★19:00 帰宅、夕食準備
- ★20:00 夕食
- ★21:00 SNSをチェック
- ★22:00 入浴
- ★23:00 ダンス動画を見ながら自主練習

24:00 就寝



株式会社おもちゃ王国
運営部エンターテイメント
長田 彩華さん
20歳

[将来の夢]
「お母さん」になりたい
[オススメの本]
『君の隣をたべたい』
住野よる

[自分磨き術]
料理
[休日の過ごし方]
外食、買い物
[リラックス法]
ネットショッピングで服を購入

[上司(エンターテイメント・マネージャー)からの一言エール]

華奢で控え目な印象の長田さん。私たちが「助けてあげなきゃ」と思っていたけれど、実は芯が強く、黙々と努力をし、まわりのスタッフたちを助けてくれる心強い存在です。いつも、ありがと。これからも、もっと自分を信じて“弾ける笑顔”を見せてくださいね。

取材協力：株式会社おもちゃ王国
所在地：玉野市滝1640-1
HP: <https://www.omochaoukoku.co.jp/index.php>



Interview 04

Ayumi
Yoshikawa

age.49

学芸課 学芸課長 / 学芸員



唯一無二の作品も人と未来でつなぐ仕事で貢献したい。

美術作品の調査研究や展示を通して作品と鑑賞者をつなぐスペシャリスト。

大原美術館は、1930年(昭和5)年に設立された、国内初の西洋美術中心の私立美術館です。現在は、近現代の西洋美術をはじめ、アジア古美術や日本洋画など多岐にわたるコレクションを収蔵展示しています。学芸員は、館が保有するさまざまな作品の調査研究に加え、展示、作品解説・紹介文の作成や各種書類の作成・処理、データベース管理のほか、貸出業務、保存・修復などの仕事を受け持っています。特別展の企画にも携わります。仕事量が多くて大変ですが、常に本物の美術作品と対峙できることは、この仕事の大きな魅力。また、作品や、それに関わる事柄の面白さを自分の目で見出し、自分の手で掘り起こし、それを展示や文章で人々に伝える仕事は興味深く、やりがいに満ちています。美術作品は、観る人がいて初めて、その存在意義を発揮するものです。作品を観る人たちは、それぞれ人生のバックグラウンドを持ったかけがえのない存在。そういうひとり一人への敬意を忘れず、美術作品との「出会い」を作り出せるのは、研究者とは異なる学芸員ならではの醍醐味だと思います。さらに、私は課長として、学芸課(6人)がひとつのチームとして機能するように管理しながら、自身の実務もこなすプレイングマネージャーの役割も果たしています。

管理職になることで可能になることがある。 — ターニングポイント —

私は大学で日本の近代美術史を学び、学芸員の資格を取得しました。大学院に進み、研究と並行して岡山県立美術館で非常勤学芸員として勤務。日本美術チームに属しつつ、他チームにも補佐役として関わり、働きながら多種多様な美術について学ぶことができました。結婚し、その後、大原美術館に転職。正規の学芸員となりましたが当時、学芸員は現在の半数以下。コレクション数が膨大な上、関わる領域も広く、戸惑うばかりでした。しかも仕事量の多さは、家に持ち帰らなければ処理が間に合わないほど。そこで、自分なりに考えて、より良いやり方を工夫し、より良い成果を求めて頑張ることで効率アップなど、少しずつ業務を改善。周囲の人々にも評価をいただきました。その後、学芸員が増員され、私自身は2度の産休・育休を取得し、時短勤務を経て完全復職に至りました。その間も作品情報や資料の整理には継続的に取り組んできましたが、館の歴史が余りにも長いので調査が追いつかず、課題は山積。そこへ、2020年の春、課長に昇級する話が持ちかけられたのです。「自分の仕事に集中したい」と思っていた私はキャリアに関心がなくなるところか、「管理職は面倒」「できればなりたくない」と考えていたので悩みましたが、管理職になれば権限を与えられ、大きな視野で作戦を立てて課題解決に取り組めるのではないかと考えを改め、昇任を決意しました。

大きな視野で作戦を立て、将来、役立つ成果を残したい。

管理職になって初めて、自らの仕事を進めやすいように環境整備したり、スタッフ全員が成果を上げやすいチーム作りを手掛けたりできることが分かりました。90年の歴史を有する大原美術館は、契約書や過去のカatalog、座談会の記録など、美術館誕生の経緯や日本の文化史にも関わるような貴重な史料をたくさん所有しています。膨大なコレクションに関する情報の整理と合わせて、史料の再調査や整理も行い、情報のデータベース化、それらを情報共有できる体制作りを進め、確固とした研究調査に立脚した展示や解説など、信頼の置ける仕事を成し遂げていきたいと考えています。そして、未来の大原美術館を担うスタッフはもちろん、美術に関わる全ての人のために、自分の経験や力を生かしていきたい。どんなに忙しくても小さな違和感を見逃さず、誠実な仕事を心がけ、大原美術館の学芸員として何をすべきか、ミッションや理念と常に照らし合わせながら、次代のスタッフが安心して土台にできるよう、将来の人たちに役立つ成果を残したいと思います。



**デジタル管理で“時間がない”を解消
プライベートも仕事もスタッフも
全ての予定を一つの画面で管理。**

パソコンが得意な訳ではないのですが、「こんな事ができたら便利」と私が想像する程度のことは「絶対にできるはず」と信じているので、思い付いたらすぐインターネットで調べて実行します。とにかく時間が足りないので、スケジュールはデジタル一括管理を徹底。スケジュール管理ソフトを活用し、プライベートと家族の予定、自分の担当業務、美術館の予定、スタッフの勤務予定などを一覧で表示し、一目で把握できるようにしています。



**子どもの意見を“拝聴する”謙虚さ
わが子と共に作品を鑑賞することで
白紙の状態に謙虚に向き合える。**

美術に関わる人間として私は、全ての鑑賞者に対する敬意は絶対が必要だと思っています。しかし、学芸員のキャリアを重ねると、作品に対する気軽に率直な意見や感想を聞かせてもらえなくなるのも事実です。その点、わが子と一緒に作品を鑑賞すると、忖度も遠慮もなく自由な発想で発言してくれるので面白く、「なるほど」と気付かされることも多いし、リラックスした状態で作品と向き合えます。謙虚な気持ちにもなれる、貴重な存在です。



**家事と子育ては完全平等で分担
夫婦互いの仕事を尊重し合い、
家の仕事も二人で分け合う。**

子どもが就学するまでは、時短勤務だった私が保育園のお迎え担当。夫が買い物をして夕食を作っていました。子どもの成長や、その日の仕事量などによって割合は変わりますが、互いの仕事をリスペクトしているため、家事も子育ても平等で分担しています。片方が忙しければ時間のある方が多く分担し、どちらも忙しい場合は“家事をやらない”という選択も許されています。二人共が家事をするからこそ理解し合えるのだと思います。

ある1日のスケジュール

- ★6:30 起床、家事、子どもの送り出し
- ★8:00 出勤
- ★8:30 出社
- ★8:40 業務開始、朝礼、メールチェック、打ち合わせ、原稿作成
- ★12:30 昼休憩・昼食
- ★13:30 資料調査、原稿作成
- ★17:15 終業、学童お迎え
- ★18:30 帰宅
- ★19:00 家事、入浴
- ★20:00 夕食、家事

22:30 就寝



公益財団法人 大原美術館
学芸課 学芸課長／学芸員
吉川 あゆみさん
49歳

[将来の夢]
読書、映画、舞台、音楽、旅行など忙しくてできないことをやりたい
[リラックス法]
寝ること。家族と過ごすこと。

[自分磨き術]
子どもの「ご意見を拝聴」すること
[オススメの本]
『あなたが子どもだったころ』
河合隼雄

[夫からの一言エール]

お互いに仕事と家事と子育てと、やるべきことは多いですが、自分の時間も大切だと思います。今、その時間は少ないようですね。結婚した頃から互いの仕事を尊重してきたスタイルは変わらず、これからも二人で家事や子育ての負担は平等に分け合い、一緒に頑張っていきたいと思います。そして、管理職として働き方改革をより一層進め、豊かなライフスタイルを実現してください。

取材協力：公益財団法人 大原美術館
所在地：倉敷市中央1-1-15
HP: <https://www.ohara.or.jp/>



Interview 05
Minami
Yoshida
age.32

第一営業部 広報担当



選手と、スタッフやファンをつなぐ架け橋となり、チームに貢献したい。

「岡山シーガルズ」の選手と活動を多方面から支え、チームの魅力を発信。

「岡山シーガルズ」は、日本バレーボールリーグ機構に所属する女子バレーボールチームの中で数少ない、地域密着型の市民クラブチームです。2001年に富山から岡山に本拠地を移し、2006年にはチーム名に「岡山」を冠し、名実ともに岡山に根ざしたチームとして活動してきました。これまでに2005年の岡山国体を含む国体5連覇・通算10度の国体優勝を成し遂げたほかVリーグでの2度の準優勝を果たすなど輝かしい戦績を残し、近年では毎年日本代表選手を輩出するまでに成長しました。私は2007年から13年間、選手として在籍しました。2020年5月に引退後、7月1日から岡山シーガルズ(株)第一営業部に所属し、事務局の広報担当スタッフとしてチームを支えています。業務内容は、県内外の企業様に対するスポンサー営業活動や各種メディア取材等に対応するPR活動が中心ですが、選手の練習や生活のサポート、遠征時の帯同、ホームゲーム開催時の会場設営やポスター・チラシ配りなど、様々な業務に携わっています。現役時代とは異なる事務局の業務は覚えることも多いですが、周りのスタッフに教えてもらいながら精一杯頑張っています。一方、市民クラブチームである「岡山シーガルズ」は地域活動や地域交流を大切にしているので、県内の幼児・小学生や中高生、ママさんを対象とするバレーボール教室等の地域活動に年間200回以上参加し、地域の皆さんと触れ合うイベントも多彩で、私もバレーボール指導等に携わっています。

コート仲間を見て、自分の役割に目覚める。 — ターニングポイント —

私は出身地の大阪でバレーボールを始め、中学時代に大阪府代表、2006年に春の高校バレー(春高バレー)に出場し、その頃から河本監督の指導を受けていたので「バレーボールを続けるならシーガルズ」と決めていました。2007年の正式加入から引退までシーガルズ一筋で、リベロやアウトサイドヒッター(レフト)として成長し、2010年には日本代表に選出されました。ところが、岡山シーガルズは2016/17シーズンにチャレンジリーグ降格を経験。しかも、その年に私は体調を崩し、シーズン中、1度も試合に出られませんでした。ほとんど練習もできず、サポート側のスタッフとしてベンチには入っていたのですが「選手としてはもうダメなのか」と引退を考えていました。でも、コートの外からチームのみんながプレミアリーグへの昇格を目指して必死に戦う姿を見ていたら「諦めちゃいけない。もう1回、自分も限界まで頑張ろう」という熱い気持ちが湧いてきました。チームは1年で1部リーグに復帰。その前後から体のキレも良くなり、また、サポート側を経験したことで考え方の幅が広がり、「これがスポーツの力なんだ」と改めて実感できました。2019/20シーズンは川島 亜依美選手と共にキャプテンを務め、仲間同士の結束を高めてチームも準優勝することができました。そして、2020年5月に引退。バレーボール一色の人生から、第一営業部の配属となり、書類作成など不慣れで分からないことばかりの中、不安や戸惑い、悩みは尽きません。それでも、選手たちが「1つのミスが負けにつながる」という高い緊張感の中で頑張っている姿を見るたび、「私も頑張ろう」と自分に言い聞かせ、諦めずに頑張っています。

日本一を目指すチームにふさわしいスタッフになりたい。

「岡山シーガルズ」のモットーは「考える心のバレー」。強みは「心の強さ」だと思います。外国人選手や日本代表選手が多く所属している企業チームに勝つために、戦略的な攻め方など、心を駆使して工夫しないと勝てません。監督の指導は厳しいですが、練習の中で「次は何が今のチームに必要なか」と考える習慣や物事を整理する力が身に付き、大事な場面で実力を発揮できるよう、判断力や対応力、集中力も磨かれます。選手の多くがチームに入るまでは目立った実績が無くても、加入後に大きく成長し、日本代表に選ばれることも有るほど力を付けているのも、そうした心を育ててくれる土壤があるからです。私も、選手時代から常に人の動きを見て考える習慣を養ってきたので、今も先輩の仕事を見て聞いてメモして覚え、先を考えて動くようにしています。一方、スタッフを経験したことで、たくさんの支えの中で夢に挑戦できていたのだと改めて感じる事ができ、感謝の気持ちでいっぱいです。今後は選手生活での経験を生かし、営業やPR活動でチームの魅力をより深くわかりやすく伝え、スポンサー企業様やファンの皆さんとチームをつなぐ役目を果たしたいです。さらに、みんなの気持ちを一つにできるよう選手とスタッフの結びつきや絆を強める架け橋となって、チームの日本一実現に貢献したいと思います。



**知らない間に誰かに支えられている
選手時代は見えなかったスタッフの
支援に感謝。選手にも伝えたい。**

多くの企業様に応援していただき、スタッフの方々に支えられて、選手は試合に臨むことができます。現役時代にもそれは認識していましたが、スタッフになって初めて気づいた「こんなことまでしてくれていたなんて」ということも多いです。寮で使っていた寝具も、同じものを購入しようと調べて上質な製品だったと知りました。これまでは気づかなかった支援に改めて感謝するとともに、見えないサポートがあることを選手にも伝えていきたいです。



**分からないことは隠さず解消する
分かったふりは周囲にとって大迷惑。
自分で考えて分からなければ質問を。**

バレーボールはチームプレーなので、作戦やフォーメーションなどを理解していないのに分かったふりをすると、周囲に大きな迷惑をかけてしまいます。仕事も同じだと思います。特にパソコン作業は分からないことばかり。先輩に一から教えてもらうのは申し訳ないので、ある程度まで自分で調べ、それでも分からないことは素直に「分からない」と伝え、教えていただいています。



**常に万全の体調にコントロールを
体調管理の基本は食事・睡眠・休養。
外食時も栄養バランスに気を付ける。**

選手時代は厳しく体調管理を行い、生活リズムも一定に保っていました。やはり健康の基本は、しっかり食べて寝ること。現在も、どんなに疲れても入浴はシャワーで済ませず、湯船に浸かるようにし、一日の疲れを完全に取るようにしています。食事は、寮の管理栄養士にお任せでしたが、現在は自炊を中心に、添加物を摂らないようにしています。ですが、おいしいものが大好きなので、ときには何も気にせず甘いものやその時に食べたいものを食べます。

ある1日のスケジュール

- ★6:45 起床、身支度、お弁当作り、朝食
- ★8:20 出勤
- ★8:35 出社、整理整頓
- ★9:00 業務開始、ミーティング
- ★12:30 昼休憩・昼食
- ★13:30 PR活動、取材対応など
- ★18:00 終業
- ★18:30 帰宅
- ★19:00 夕食準備
- ★20:00 夕食、家事
- ★21:00 TVを見る、翌日の業務確認
- ★22:00 入浴

24:00 就寝



岡山シーガルズ株式会社
第一営業部 広報担当
吉田 みなみさん
32歳

[将来の夢]
長期の海外旅行
[オススメの本]
『思いわずらくことなく愉しく
生きよ』江國香織
『まほろ駅前多田便利軒』三浦
しをん

[自分磨き術]
食事美容も、できるだけ添
加物を摂らない。どんなに疲
れていても湯船に浸かる。
[休日の過ごし方]
少し贅沢な食事を楽しむ。
おいしそうなお店を探す。





Interview 06

Manami
Mimura

age.55

アマノブランド企画室 副課長

期待を超える“おいしさ”“感動”も届ける新商品も開発したい。

既存ジャンルにこだわらず、世の中が「あっと驚く」商品を創り出す。

「アマノフーズ」は、国内におけるフリーズドライ（真空凍結乾燥）食品のパイオニアです。フリーズドライ製法は、調理した食品を約-30℃で凍結させ、真空凍結乾燥機に入れて、真空下で乾燥させる技術のため、色・味・香り・栄養価が損なわれにくく長期保存にも便利な上、お湯を注ぐだけで出来立ての美味しさをお楽しみいただけます。2008年、アサヒグループHD傘下に加わり、2016年からアサヒグループ食品株式会社の1ブランドとして、味噌汁やスープ、雑炊、パスタ、カレーなど、約150種類のフリーズドライ商品を製造・販売しています。私は現在、里庄工場内にある「アマノブランド企画室」で、アマノフーズ通販と全国4か所の直営アンテナショップだけで販売する期間限定商品の開発を担当しています。「世にないもの、お客様をあっと言わせる商品」を生み出すことが「アマノフーズ」のモノづくりの原点。その魂と独自技術を次代に受け継ぐため、また、長く愛用してくださるお客様に喜んでいただけるよう遊び心を大切に、フリーズドライ化が困難とされる食品の研究にも積極的に取り組み、揚げ物のカツや1人用の鍋料理など、世の中になかった新商品を企画開発しています。

育休から復職後、検査部署に異動。 — ターニングポイント —

大学の農学部で食品衛生を専攻した私は、「アマノフーズ」ブランドを立ち上げた天野実業に入社し、開発部に配属されました。品質管理部門を経て2000年頃、再び開発へ。新商品の企画や試作などに携わりました。結婚後、2007年に40代で娘を出産。産休・育休を経て翌年に復職しましたが、品質管理部門に二度目の異動。当時はフリーズドライ以外の製品も多く、製品名を覚えるだけでも時間がかかり「同僚に迷惑をかけているのではないか」と思い悩み、辛い気持ちでいました。それでも仕事は待ってくれません。出荷基準を満たさない製品が見つれば出荷を止めなければならないので責任は重大です。また、一日の検査点数も多く、その日のうちに検査を終わらせなければ出荷が止まってしまうため、毎日19～20時まで残業する同僚が多いのに、娘が乳幼児の間は早く帰らせてもらい、同僚に引け目を感じながらも、「今はできることを気負うことなくこなしていこう」と自分に言い聞かせながら検査や品質管理の経験を積んでいきました。

これまでの経験や技術を活用し、65歳まで働き続けたい。

2013年頃、会社の体制が変わり、「アマノブランド企画室」が新設されることになり、当社のフリーズドライみそ汁を確立させた顧問（開発部の元上司）が責任者に就任。「私を部下に採用して欲しい」と直談判したところ、商品開発の実績と、フリーズドライ食品の試作ノウハウを持っていることから異動が認められ、開発業務への復帰ができませんでした。この「アマノブランド企画室」は、お客様に喜んでいただける新商品を生み出すこと、そして、天野実業のフリーズドライ製法技術を伝承することを目的としています。そのため、納期に追われることなく、いろんなことにチャレンジできます。この仕事が好きだから日々、試作に励むだけでなく、インターネットや雑誌などで話題の料理レシピを見ると「どうすれば商品化できるだろう」と考えることや、試行錯誤を繰り返すことも楽しいです。できれば、このまま開発業務に携わりたいのですが、先のことは分かりません。子育てや介護のこと、管理職に昇任するかどうかなどで悩む後輩のサポートができるような業務や、ずっと「お客様」を見つめて商品開発を続けてきた経験を生かして「お客様のためになる」業務に就くことも視野に入れ、65歳まで健康に働き続けたいと思っています。



無駄な仕事なんて存在しない

仕事は1人でやっているのではない。
置かれた環境で全力を尽くすこと。

工場で検査や品質管理に従事していた頃はルーティン業務でしたが、発見もくありました。製品知識が増え、製造ラインに向いている原料と向いていない原料があることも分かり、その知識や経験が今の開発業務に生きています。世の中に無駄な仕事は存在しないと思います。仕事は開発・調達・製造・配送・販売と繋がっています。置かれた環境で今できることに全力を尽くすことが、次の道を拓くのだと思います。今は、検査や品質管理部門への異動を経験して良かったと思っています。



プロの助けを活用して仕事に集中 餅は餅屋。子育てや介護の悩みは 1人で何とかしようと思わないで。

40代で出産した私は、育児と親の入院・長期療養・看取りを同時期に経験しました。経験者だから言えることは、このピンチを働きながら切り抜けるには、誰かの手を借りなければ困難だということです。「家庭の事情で仕事が疎かになってはいけない」と思った私は、実母に育児をお願いし、父の療養については関係機関に相談。自宅の目の前の高齢者施設と介護のプロの力に頼った結果、母の負担も軽減することができました。



休日の楽しみは「お菓子作り」

娘が見つけた目新しいお菓子を
一緒に試行錯誤しながら手作り。

私も中学生の娘も、パンやお菓子を作るのが大好き。休日には一緒にキッチンに立ち、娘がインターネットで見つけるレシピを元に、いろんなお菓子作りに挑戦します。目新しいレシピを見ると斬新な発想が得られるし、自然と脳が活性化されるのか、手を動かしている間にどんどんアイデアが湧いてきます。材料を変えてみたり、アレンジを加えてみたり、仕事とは違った視点で食品作りを純粋に楽しめ、気分転換にもなります。

ある1日のスケジュール

- ★4:00 起床、身支度、洗濯、仏壇のお供え
 - ★5:00 朝食
 - ★6:45 出勤
 - ★7:15 出社、メールチェック
 - ★7:20 業務開始
 - ★9:30 レシピ作成、試作、過去データ調査
 - ★12:00 昼休憩・昼食
 - ★13:00 企画会議、試食
 - ★15:00 プレゼン資料作成
 - ★17:00 終業
 - ★17:30 学校まで娘を迎えに行く
 - ★18:00 夕食
 - ★18:30 娘を塾に送って行く
 - ★19:30 片付け、家事など
 - ★20:30 TVを見る
 - ★21:00 入浴
 - ★22:00 娘のお迎え
- 22:30 就寝



アサヒグループ食品株式会社
コンシューマ事業本部
食品マーケティング部
アマンブランド企画室 副課長
三村 真奈美さん
55歳

[将来の夢]
65歳まで健康に働くこと。
コーラス(合唱)を再開すること。

[休日の過ごし方]
お菓子づくり
[リラックス法]
通勤中の車中で歌う。
大きな声を出す。

[アマンブランド企画室の後輩からの一言エール]

常に視座を高く保ち、仕事に取り組む姿勢を尊敬しております。私も三村さんを見習い、仕事に打ち込んでいきたいと思っております。今後とも、より一層のご活躍を心より願っています。

取材協力:アサヒグループ食品株式会社
本社所在地:東京都渋谷区恵比寿南二丁目4番1号
HP: <https://www.asahi-gf.co.jp/>





発想力とチャレンジ精神で、工場内の搬送自動化の先駆者になりたい。

ロボットやAGVを活用し、工場内の省力化や製品の品質向上に貢献。

「岡山村田製作所」は、総合電子部品メーカー「村田製作所(京都府)」が率いる企業グループの重要な生産拠点です。スマートフォンや自動車など、世界中のあらゆる場所で活躍する“電子部品”を原料から完成品まで一貫生産しています。私は現在、生産企画課に所属し、製造ラインの3年後・5年後・10年後の技術進化や、人手不足などの課題を見据えながら、ロボットやAGV(無人搬送装置)を活用した搬送システムを構築し、工場内における搬送作業の自動化を進めています。企画・構想から試作・製作、カスタマイズ、プログラミング、導入まで、さらに、導入後のメンテナンスやプログラム更新、トラブル抑制などにも対応。成功も失敗も全て自分次第なのでプレッシャーはありますが、企画製作から稼動するまでの全ての過程を肌で感じながら仕事ができるのはとても楽しいです。また、私の仕事によって工場内の省力化が実現でき、製造現場の負担が軽減されて安全性や生産効率が上がリ、運搬従事者を検査や品質管理など「人間にしかできない領域の仕事」に配置することにより製品の品質向上にも貢献できるので、大きなやりがいを感じています。

2人目の産休復帰後に実現した担当業務変更。 — ターニングポイント —

私は大学でロボットや情報システム工学について学び、岡山村田製作所に入社。生産技術課で、世界中に供給する電子部品を量産する設備の企画開発を担当。責任ある仕事にやりがいを感じていました。入社5年後に結婚、28歳で第1子を出産し、1年半の産休・育休を経て、以前と同じ課に短時間勤務で復職。しかし、子供の看病のために急に休まなければいけない時もある中で、残業はできず、時間外のトラブルにも対応できずと、同じ課の仲間に負担を掛けてしまうことが申し訳なく、仕事と子育てとの両立で悩むようになりました。そんな私を上司が心配してくださり、相談の上、緊急業務の少ない新規設備を企画する担当に変更。急に休むことがあっても職場への負担が少ないので自分の裁量で仕事を進められ心理的な負担は軽くなりましたが、仕事への張り合いも失いかけていました。そんな葛藤を胸中に抱きつつ第2子の産休前にロボットやAGVを扱う業務を一部担当することになりました。そこで、ロボット・AGV系の面白さを感じ始めていた私は責任者に「産休から復帰したらメンバーに加えてください」と伝えていたところ、第2子産休・育休復帰後に配置変更が実現。実際に業務に携わるとやはり面白く「やりたい仕事を見つけた」と直感しました。そんな時、同じ会社に勤める夫は京都に異動となり、平日はワンオペで休む暇もありませんが、その不安よりも好きな仕事ができる喜びは大きく、仕事へのモチベーションが大幅にアップしました。

短時間勤務の中で効率的に働きマネージャーを目指したい。

プロジェクトを進めるには、企画開発担当者だけでなく、多数の部署のスケジュール管理など、調整作業が必要になります。常に多面的な思考が求められ、規模が大きくなればなるほど自分の限界を感じますが、一番ムダなのは自分一人で悩む時間。短時間勤務の中で効率的に働きたい私は「詳しい人に教えてもらう」という最速の解決法を選択。最も適任と思われる人材に声を掛け、プロジェクトに巻き込んで業務を進めています。これからも常に楽しみながら企画開発できる、少年のような技術者でいたいと思います。現在、岡山村田製作所は村田グループの他拠点に先んじ、全ての工程間でAGVが自動搬送する体制を整えています。そのノウハウを蓄積し、搬送系自動化の先駆者になりたいと思っています。他拠点が自動化へ取り組む際にサポートできる体制を整えたいと思い、マネジメントに関する勉強を始めました。子育てが落ち着いたら社内で職能教育を受け、昇格試験に挑む予定です。将来は、さまざまな企画を円滑に推進できる実力を備えたマネージャーとして、グループ全体の自動搬送化を促進したいと思っています。



働きやすい制度を提案しよう

伝えなければ気づかれないし、会社も制度も変わっていかない。

以前は、育休から早く復帰したくても、年度途中で就労証明書を申請できず、保育園に申し込めないから4月の復帰が通常でしたが、「本人に復帰の意思があるなら年度途中で復帰できるようにして欲しい」と願い出たところ承認され、後に制度化されました。また、子供1人につき年5日の看護休暇があり、子供の看病で休んでも欠勤にならず、賞与査定でも昇格試験でも不利にならないのはありがたいです。



いつでも誰にでも引き継げる準備を記録や資料は分かりやすく整理整頓。上司・部下との情報共有に努める。

産休に入る時、担当していた仕事を引き継ごうとしたら、過去の故障時の対処方法など、資料や記録が不足していたために口頭で伝えるしかなく、苦勞しました。その経験から、担当業務の詳細が一目で分かるよう、電子データとして残し、課内で情報共有しています。また、報告書などの提出書類は納期より早めの作成を心がけ、もしも突然、私が休むことになっても誰かが提出できるように、作成途中段階の書類も課内で共有しています。



休日は家庭菜園や裁縫で気分転換無心で何かに没頭したり、収穫したり、何でも自分でやってみるから楽しい。

何でも“やってみる”ことが好きなので、自宅の庭は外構以外ほぼ手作り。砂利を約1トン買って敷き詰め、木も自分で植えました。子供のためにブロックを自分で積んで砂場を作り、ままごと用キッチンも手作りしました。今は家庭菜園に凝っていて、畑の手入れや収穫が休日の楽しみです。裁縫も大好きです。将来は「自然の豊かな場所に住んで、釣った魚や自分たちで栽培した野菜で毎日BBQできたら最高」と夫と話しています。

ある1日のスケジュール

- ★6:40 起床、朝食準備
 - ★7:05 子供を起こす、朝食
 - ★8:10 自宅を出発
 - ★8:30 子供を保育園に送る
 - ★8:50 入社、パソコン立ち上げ
 - ★9:00 社内メーカーと打合せ、作業(組立て、試作など)、企画資料作成
 - ★11:50 昼食
 - ★12:35 社内/メーカー打合せ、作業(配線、プログラミングなど)、企画資料作成
 - ★16:30 終業
 - ★16:50 退社
 - ★17:25 保育園にお迎え
 - ★17:50 学童にお迎え
 - ★18:05 帰宅、夕食準備
 - ★18:40 夕食
 - ★19:30 子供の宿題チェック、子供のピアノの練習
 - ★20:15 入浴
 - ★21:00 家事
 - ★22:00 自分タイム、休憩
- 23:00 就寝



株式会社 岡山村田製作所
第2製造部 生産企画課
浅野 友紀さん
34歳

[将来の夢]
大きな“マイ畑”を持ちたい。
老後は半自給自足生活でのんびり暮らしたい。

[休日の過ごし方]
家庭菜園・庭の手入れ・裁縫
[リラックソ法]
子供が寝た後にコーヒーを飲む。
テレビゲーム/裁縫(ミシン)

【上司からの一言エール】

いつも明るく元気な浅野さん。持ち前のアイデアを活かした企画に、みんなの理解が追い付かないこともありますが、「やってみようよ!」と果敢にチャレンジする姿に刺激を受け、周りも「協力してあげよう!」と前向きな気持ちになります。結果的に、みんなの一体感が増えて職場も明るくなります。仕事に、子育てに、パワフルに取り組む、頼りになる存在です。これからも体調に気を付けながら活躍し続けてほしいと思います。(生産企画課 難波さん)

取材協力：株式会社 岡山村田製作所
所在地：瀬戸内市邑久町福元77
HP: <https://recruit.murata.com/ja-jp/area/okayamamura/>



Interview 08
Kimie
Koumoto
age.49

アウトドアサポートグループリーダー



アウトドアの知識と経験を増やし、お客様の夢のお手伝いをしたい。

アウトドア専門店でおお客様の目的に応じた道具選びをサポート。

「株式会社ニッチ」は、アウトドア用品をはじめ、薪や薪ストーブ、発電機・草刈機などのパワーツール、空気清浄機などを販売するネット通販ショップと実店舗「自然大好き!ニッチ・リッチ・キャッチ」を運営しています。私は、実店舗で接客を担当するグループリーダーとして、アウトドアに初めて挑戦するお客様からファミリー、上級者まで、それぞれの目的やレベル、用途に応じたアイテム選びをサポートしています。モットーは、常にお客様のことを最優先に考えることと、挨拶と笑顔を大切に接客。自らの経験を伝えることで納得できる道具選びのお手伝いや提案ができ、あとでお客様から「あの商品、良かったよ!」と喜びの声をいただいた時には大きなやりがいを感じます。また、商品を販売するだけでなく、キャンプや登山をやってみたくれど一歩を踏み出せないお客様の夢の実現をサポートしたり、野外活動時のルールやマナーをお伝えしたり、自然を守るためのライフスタイルの提案も行っています。

裏方の発送担当から店舗に異動。 — ターニングポイント —

3人の子どものうち、一番下の子の保育園入園をきっかけに、日中のみのパートタイムからフルタイム共働きに変わろうと思い、2010年に入社しました。土日が休みで9時～18時勤務の条件が自分に合っていたこと、もともとアウトドアが好きだったことが理由です。仕事は、ネット通販商品の梱包・発送作業と発送案内メールの送信。お客様からの商品に対する問合せには専門チームがメールで対応していたので、商品知識は不要だった上、梱包の仕方など業務研修が充実していてマニュアルも完備されていたので、初めての仕事でも戸惑うことはありませんでした。ところが、2013年2月に実店舗が開店することになり、販売スタッフとして異動を打診されたのです。仕事内容が変わること、土日出勤になること、また、商品知識が少ないから売り上げに貢献できる自信がなかったことなどで悩みましたが、接客は好きだったので家族と相談した結果、下の子どもも小学校中学年に成長し、夫や夫の両親にも助けてもらえるということで異動を決めました。しかし、閉店後に発注作業をしていると残業が増え、帰宅時間が遅くなると育児も家事も手が回らなくなってしまったのです。そこで、上司に相談すると親身に考えてくださり、家庭を優先できるように、午前中から夕方までのシフトに変更してもらえました。さらに、発注作業を閉店後ではなく、翌朝に行うように仕事の流れを変えたことで作業の効率が上がりました。

経験を話すことでお客様のアドバイスになれば、それが喜び。

接客しているとお客様からいろいろ質問されるので、「もっとアウトドアの知識を増やして良いアドバイスをできるようにになりたい」、「初めてのお客様に長く続けてもらえるようなサポートをしたい」と思い、さまざまなメーカー研修に参加して商品知識を学んでいます。また、休日を活用して積極的に山に登るようになりました。すると、登山がさらに好きになり、心身のリフレッシュができるだけでなく、考え方がどんどん前向きになり、この仕事は私にとって天職だと思えるようになりました。今は、接客を通して、野外活動や自然を楽しむためのマナーやルールの大切さも伝えていきたいし、環境やゴミ問題への関心も高めていきたいと思っています。また、災害時に役立つノウハウも広められるよう、災害ボランティアにも参加しています。そして、経験が増えるほどアウトドアの知識の引き出しも増えるので、加齢や体力低下を理由に野外活動をあきらめるのではなく、例えば、山歩きのスPEEDを調整したり、途中で山小屋に宿泊したり、自らの体力やレベルに合った「身の丈登山」の方法を伝えていけるよう、私もこの仕事をできるだけ長く続けていきたいと思えます。さらに、今後、動画配信など、新しい接客や販売方法に取り組むなど、お客様のニーズに合うようできる限り挑戦したいと思えます。



**仕事と登山を通じて人生観が変化
想定外の事やトラブルも楽しむことで
発想力や対応力、決断力を養う。**

山岳部出身の夫に付き合っ、結婚前から山に登っていましたが、体力のなかった私は余裕がなく、山を楽しめませんでした。ところが、自分の給料で買った登山靴で登ると、頂上の景色が格段に美しく見えました。気持ちが変われば見える景色も変わると気づいた日から、考え方が一変。トラブルを楽しめるようになり、無理な場合はプラン変更する柔軟性や、安全な登山に必要な計画性、危険を回避する判断力・決断力を養う事ができました。



**子育て経験を若手に伝えていきたい
いろいろな人のサポートを得れば
子育てと仕事は両立できる。**

パートから正社員になった時、「自分が必要とされている」、「働くことが楽しい」というやりがいを強く感じました。子どもが小さい間は、残業になると延長保育を利用したり、夫の両親に子どもをお願いしたり、会社に仕組みを変えてもらったり、周りの人の協力を得ることで仕事と家庭を両立できました。助けてもらうから感謝できる人間に成長できるのだと思います。子育てを経験した私が、今度は職場の若手スタッフを支えていきたいです。



**アウトドアは趣味と実益を兼ねられる
休暇を活用して登山でトレーニング。
安全に登頂して下山する体づくり。**

登山を始めた頃は、いつも膝がガクガク震えていましたが、今は休みの度に登山をしたり、15kgぐらいの荷物を詰めたザックを背負って近くの低山に登頂したり、トレーニングを欠かしません。年に数回は日本アルプスにも遠征します。また、体力がついてからは、災害ボランティアにも参加しています。「山に登りたい」という友人がいれば、初めての山登りをサポート。頂上で友人が感動してくれたら、それが私にとっての喜びです。

ある1日のスケジュール

- ★5:30 起床、コーヒータイム、3人分のお弁当づくり、朝食準備
- ★7:00 朝食
- ★8:30 出勤
- ★8:50 出社、掃除
- ★9:00 始業、スカイプミーティング、発注作業、オープン準備
- ★10:00 店舗オープン、接客
- ★12:00 昼食
- ★13:00 接客
- ★17:00 終業
- ★17:30 退社、買い物
- ★19:00 帰宅、夕食準備
- ★20:00 夕食、家事
- ★22:00 入浴
- ★23:00 TV、YouTubeを見る
- 24:00 就寝



株式会社 ニッチ
アウトドアサポートグループ
リーダー
河本 きみえさん
49歳

[将来の夢]
北アルプスの山々を制覇したい。
[休日の過ごし方]
大好きな山で過ごす。
山ランチ、山おやつ、山コーヒーを楽しむ。

[オススメの本]
『悩んだときは山に行け! 女子のための登山入門』鈴木みき
[リラックス法]
登山。山を歩くことだけを考える時間が心地よい。

【上司からの一言エール】

過去にないアウトドアブームでお客様が多くなり、忙しい中、スタッフと共にいつも笑顔の絶えない楽しいショップづくりを心掛けてくれてありがとう。これからも、アウトドアの魅力を発信していけるよう、一緒に頑張りましょう!
(営業部部长 青山 ちかさん)

取材協力:株式会社ニッチ
所在地:津山市一方146
HP: <https://www.shop-niche.co.jp/>



Interview 09
Suzuka
Fujiwara
age.52

荘内支店 支店長



信頼、繋がりも大切にしながら「地域」と「人」も育てていきたい。

地域になくてはならない金融機関の舵取りを担い、地域の発展に貢献する。

信用金庫は、会員の出資による非営利の協同組織です。相互扶助の精神に基づき、「協同組織性」「中小企業専門性」「地域性」という3つの特性を持つ金融機関として、地域住民と中小企業の発展に寄与するという社会的使命を有しています。「おかやま信用金庫」では、地域に根差した独自の付加価値営業を通じ、地域社会の発展に貢献しています。私は現在、フルバンキングサービスを提供する荘内支店の支店長として店舗経営を牽引しています。10名の支店職員の指導や育成も担っています。また、お客様のニーズに合った預金・融資・金融商品などのご提案活動をすることで、年間の収益目標を達成できるよう努める一方で、「信用金庫だからできること」にも一生懸命取り組んでいます。例えば、地元の方々との信頼関係を構築し、「三方良しの精神」で地域を豊かにすること。その積み重ねにより自ずと当金庫にも良い影響があると考えています。他にも、企業を存続させ、地域を発展させるために必要な融資案件は、お客様のプラス要因を調査して粘り強く本部と交渉し、スピード重視で決裁を取ることも支店長の役目だと思います。難題を一つずつクリアするのは大変ですが、支店職員が一丸となって挑戦することはとても楽しく、乗り越えられた時の喜びや達成感、お客様の笑顔、そして、職員全体の一体感を味わえるのは、この仕事の醍醐味だと思います。

窓口担当者から営業、そして女性初の支店長へ。 — ターニングポイント —

私は「一般職」で入庫し、窓口担当者を経験していましたが、1995年、27歳のときに女性が「総合職」を選べるようになったのを機に、支店長から推薦を受けて「総合職」を選択しました。また、運よく上司に恵まれ、ほかの男性と同等に扱ってくれる支店長のもとで渉外営業全般を経験できました。担当エリアを持ち、バイクに乗り、黒いカバンを持ってお客様の企業を訪問すると、当時はよく驚かれたものです。女性の営業が珍しい時代でしたから、「女か。大丈夫か?」と怪訝な目を向けられたこともあります。お客様に満足していただくため、俄然やる気になり、お客様、上司のおかげで営業成績も上位を目指すことができました。そして、役席（主任・係長等）、次長とキャリアアップしつつ、様々な経験を積み重ねました。39歳の終わり頃、当金庫で初の女性支店長に就任しました。「当たり前のことを当たり前に行う」凡事徹底を店舗方針に掲げ取り組んでいました。そのような中で、初めて年上の部下を指導することに苦手意識を持ってしまったことがありました。「経験も知識も十分持っている方、それでも自分がブレてはいけぬ」と覚悟を決め、人生の先輩に対する礼は尽くしつつも注意を促したことで、逆に強い信頼関係を築くことができ、常に力を貸してくださる存在となりました。やはりブレずに本気で向き合うことが大切なのだこのとき改めて実感しました。

職員一人ひとりの育成に励みつつ、支店長として新たな挑戦へ。

私は20代で融資業務を経験でき、恵まれていたと思います。近年は、保険や投資信託などの金融商品を専門に扱う業務を女性に担当させることが多く、総合職であっても融資業務を経験しないこともあります。そのため、キャリアアップに引け目を感じる女性がいるのではないかと感じます。そこで、私の部下は男女に関わらず、融資業務に興味があれば経験させてみたり、お客様との交渉の席に同行させたりしています。また、ここ数年、支店長代理や次長など、中間管理職の女性も増えてきています。それに伴い、男性上司に言えないような悩みも増えてきているので、店舗や部署を問わず相談を受けるようにしています。私のときは、仕事を続けていく上での制度は少なく、女性特有の悩みを相談できる女性上司もいませんでしたが、現在は育児休業や時間短縮勤務、介護休業制度など、子育てや介護と仕事を両立するための制度が整っています。とはいえ、真面目な人に限って「他人に迷惑をかけたくない」と休暇や制度の利用を遠慮しがちなので、管理職の私から積極的に取得を促すなど気配りするようにしています。結婚、妊娠、育児休業からの復帰（時短）、家族の介護等職員一人ひとりの環境や立場は異なりますが、相談に真剣に関わることで職員を応援し、育てていきたいと思っています。私は、信用金庫の仕事が好きです。自分に合っていると思いますが、今後は「自らの適性は?」「自らの適職は?」と自己探求し、人を育てる環境を考えながら、悔いのないよう「考働」していきたいと思っています。もっと自分に合う業務があればチャレンジしていきたいです。



**人と人の信頼関係が一番大切
公平にきちんと評価することが
職員のモチベーションを高める。**

私は「真の管理者」には責任感や覚悟、公平な目、ブレない言動が備わっていると認識しています。いざとなれば逃げるような「名ばかりの管理職」は部下にとって傍迷惑。部下にそうなってほしくないと思い、私は性別ではなく「個」を見つめ、適材適所で業務を割り振り、公正・公平に評価する事を心掛けています。その方が、結果的に本人のためになり、併せて業績も良くなると実感しているからです。若手職員のモチベーションを保つためにも評価の公平性は重要です。



**スポーツの経験に自信を持って
凡事徹底「己に勝て」の精神で
目標達成を目指す。**

私が働く上で大事にしてきたことは「当たり前」の事を当たり前に行うこと、凡事徹底です。中・高生時代、ソフトテニスで日本一を目指す学校で日々精進しました。その頃の練習や生活習慣は、まさに凡事徹底の積み重ね。「己に勝て」の精神で、常に自分に勝ち続けることを自らに課していました。金融業界の仕事は確かに大変ですが、スポーツの実績や、目標達成のために自分が努力した経験は必ず役立つと思います。



**プライベートと仕事を分けている
休日は完全にオフ。マッサージや食事、
ドライブなどでリフレッシュ。**

仕事とプライベートは分けるようにしています。エステやマッサージで全身をほぐしたり、学生時代の「心友」と食事に行ったり、ドライブに行ったりしてリフレッシュしています。特に運転が好きなので、助手席に座るのではなく、運転席に座りハンドルを握ります。ドライブはコースを決めず気ままに走るのが好きなので、気を付けなくて遠くまで走ってしまいます。

ある1日のスケジュール

- ★6:00 起床、身支度、朝食、新聞を読む
- ★7:30 家を出る
- ★8:00 出勤、掃除、ネットで新聞を読む、情報収集
- ★8:45 始業、朝礼
- ★9:00 支店内業務(稟議審査等)、お客様訪問・お客様応対
- ★12:00 昼食
- ★13:00 渉外同行、お客様訪問等
- ★16:00 案件相談会議
- ★17:35 終業
- ★19:00 帰宅
- ★19:30 夕食
- ★20:30 家事
- ★21:00 入浴、自分の時間、腹筋・スクワット、資格のための勉強

24:00 就寝



おかやま信用金庫
庄内支店 支店長
藤原 鈴加さん
52歳

[将来の夢]
歩き続けながら最期を迎えたい。
[自分磨き術]
異業種交流会に参加する。

[休日の楽しみ方]
心友との食事、ドライブ
[リラックス法]
全身ケア(マッサージ等)
ボーッとする

【後輩からの一言】

女性職員の憧れのある存在である藤原鈴加支店長が、岡山県のHPや県内の大学等に紹介されることは、当金庫の地域へのイメージアップに繋がるだけでなく、女性職員の意欲向上、さらには地域の学生へのアピールにも結びつく大変貴重な機会と考えております。(総務部 女性職員)

取材協力: おかやま信用金庫
本店所在地: 岡山市北区柳町1-11-21
HP: <http://www.shinkin.co.jp/okayama/>





自身のライフプランも実現し、更に輝けるよう成長していきたい!

常に品質と価格、購買量の最適化を図りながら自動車部品の原材料を購入。

片山工業株式会社は、主に自動車用ドアサッシュやモールディングなどの外装部品を開発・製造しているメーカーです。私の所属する購買課は、品質の安定とコストの最適化を考えながら、それら部品の製造に用いる原材料や部品のほか、接着剤や燃料などの消耗品などを国内外の企業から購入しています。その中で私は、原材料であるコイルと樹脂の購入を担当しています。また、単に購入するだけでなく、社内の開発・技術部門などの各部署と購入先との橋渡し役も担っています。購入先に対する窓口として、対面あるいはオンラインで打合せを行い、社内の意見をまとめて納期や価格を交渉する役目も果たします。新製品の開発試験に必要な原材料の購入の可否や見積りに関する問合せに応じたり、材料メーカーから新素材の提案を受けて各部署に紹介したりすることもあります。私は大学まで文系だったので、コイルや樹脂のことも自動車産業のことも入社前は、ほとんど知りませんでした。充実した研修を通して専門知識を吸収でき、次第に視野を広げることができました。学ぶことが多く大変ではありますが、事務系でありながらもモノづくりに深く関われることは非常に興味深く、やりがいを感じています。

製品や現場の知識がないと交渉できない。 — ターニングポイント —

入社後、3か月間の研修を経て、希望していた購買課に配属されました。ところが、その1週間後に西日本豪雨により自社工場の一部が浸水。製造ラインが止まっただけでなく、交通トラブルによる材料の入荷遅延が発生し、生産計画を練り直すことになりました。購入先についても再調整が必要となり、材料の入荷の遅れが製造現場に甚大な影響を及ぼすことを目の当たりにしました。緊急事態だったので私も急遽電話対応を手伝ったのですが、当社が何を製造しているのか、技術的な特徴なども知っておかなくては購入先ときちんと話ができないことに気づき、勉強の必要性を痛感しました。また、通常はトラブルがあってはならないので、台風や大雪など自然災害のおそれがあれば早めに行動することを肝に命じるきっかけとなりました。現在は、上司と共に会議や打合せに出席しています。その打合せで製造現場のことや技術のことで困った時には、電話ではなく直接社内の担当者に会いに行き質問し、直接コミュニケーションをとるよう心がけています。分からないことがあれば様々な部署の方々に丁寧に教えていただき、何度もやりとりをする中で信頼関係を築くこともできました。「あなたがいてくれたから助かったよ」という周りの声が進みになります。これからは、購入先と社内の橋渡し役となるよう、社内外で関わる多くの方とのコミュニケーションをより一層大切にしながら、気配り・目配りを常に心掛けて日々の仕事に向き合いたいです。

将来は仕事と子育てを両立し、働く女性のロールモデルになりたい。

入社3年目。まだまだ未熟な部分もありますが、周りの方々に助けをいただきながらも、今後は会社に利益が出るような交渉を実現させ、少しでも役に立てるよう、日々、努めたいと思います。社内には女性社員が多く、女性管理職も活躍しています。女性が抱える問題も解決していける環境で、女性だから、男性だからという見方もされません。遠慮せずに自分の思ったこと、感じたことを言葉にでき、行動に移せます。私自身も働くことに誇りを持って何事にもチャレンジしていきたいと思っています。私のライフプランとして、結婚や出産を経験し、仕事も子育ても両立していきたいと考えています。自社の敷地内には0歳児から利用できる「おもしろ保育園」があるので、安心して子どもを預けて仕事に復帰できます。育児時短勤務など社内制度を利用し、仕事と子育てを両立して働き続け、後輩の憧れとなるような活躍をする女性像を目指したいと思っています。そして、進化する技術や生活環境の変化に柔軟に対応できるよう、私自身も成長し続けていきたいと思っています。



質問のタイミングを逃さない

何事も分からないままにしない。
その場で分かるまで教えてもらう。

現在は、上司が購入先と打合せをする際に同席させてもらい、交渉のテクニックやコストダウンのコツ、1円でも利益を多く生み出すための考え方などを勉強させてもらっています。打合せの中で疑問を感じた場合は、分からないことを分からないままにせず、打合せが終わったタイミングですぐに上司に質問しています。疑問点を必ず解決させるところまでが、私にとっての打合せだと思い毎回真剣に臨んでいます。



忙しい時こそ優先順位を明確に

業務を滞らせないためにも、
優先順位をつけて順番に処理。

新人の頃は仕事を頼まれるとうれしく、あれもこれもと引き受けてしまい、能力を超えても分からず、「やらなければ」と突き進んでいました。しかし、次第に進捗状況が管理できなくなり、突発的な依頼が入ると仕事が滞ってしまいそうなことがありました。そこで、入社2年目からは一旦落ち着いてToDoリストを紙に書き出し、優先順位をつけて対応するように変えたことで、仕事内容を冷静に把握でき、仕事の効率も上がりました。



友人と休みを合わせて旅行する

GW、夏休み、年末年始の長期休暇を利用して海外や遠方に旅行。

私は旅行が大好きなので毎年、GWとお盆、年末年始の長期休暇には旅行に出掛けます。また、毎週土日がお休みなので計画通りに旅行できるのもメリット。平日の夜などにSNSを使って、これから行きたい場所を探したり、旅先の情報を調べたりしています。普段の休日には、ドライブやカフェ巡り、オシャレな建築巡り、好きなアーティストのライブでリフレッシュしています。

ある1日のスケジュール

- ★6:30 起床、朝食、準備
- ★7:35 家を出る(片道5分/自転車)
- ★7:40 出社、掃除
- ★8:00 始業、朝礼
- ★8:10 メールチェック、見積り依頼書作成
- ★9:00 課内ミーティング
- ★10:00 購入先とのWEBミーティング
- ★11:40 昼食
- ★12:20 会議資料作成
- ★13:00 社内ミーティング
- ★15:00 議事録作成、電話対応
- ★16:00 支払処理、伝票発行、メールチェック、電話対応
- ★17:00 終業、片付け
- ★17:30 帰宅
- ★19:00 夕食
- ★21:00 入浴
- ★22:00 自分の時間(テレビ、友人と電話など)

23:30 就寝



片山工業株式会社
購買部購買課
安達 裕子さん
25歳

[将来の夢]
国内外問わず旅行に行き、憧れの景色を自分の目で見てみたい。
[休日の楽しみ方]
友人と旅行、ドライブ、カフェ巡りなど。

[自分磨き術]
料理のレパートリーを増やす。
[オススメの本]
『置かれた場所で咲きなさい』
渡辺和子
『オトナ女子の気くばり帖』
気くばり調査委員会

【上司からの一言エール】

入社3年目で資材購買を担当してくれています。常にリーダーと二人三脚で、目の前の課題に真摯に取り組んでくれており、大変助かっています。また、持ち前の明るさと笑顔で部署の雰囲気を和やかにしてくれています。ますます頼られる存在になるべく、これからも明るく輝き続けてください。更なる成長に期待しています。(購買部部长)

取材協力:片山工業株式会社
所在地:井原市西江原町1005-1
HP:<http://katayamakogyo.jp/>





接客を通じて、お客様とスタッフの幸せと豊かさに貢献したい。

時を超えて受け継がれるセミオーダー家具の接客販売、店舗運営、人材育成を担当。

AKASE株式会社は、主にウォールナット無垢材を使用した家具「マスターウォール」の製造販売を手がけています。里庄町の本社とファクトリーを拠点に、東京（銀座・南青山）、大阪、仙台、京都、横浜、名古屋に直営店を展開。私は、本社内のマスターウォールファクトリーショップで店長を務めています。接客販売、発注業務のほか、マネジメント業務として運営・実績管理やスタッフの育成・管理、スタッフが笑顔で楽しく仕事ができる環境づくりにも取り組んでいます。全社的な販売戦略会議にも参画しています。中でも、人材育成は重要業務の一つ。なぜなら当社のセミオーダー家具は、サイズや仕様などもお客様のご希望に合わせて受注生産を承ることからインテリアや建築のセンス、さらには知識をミックスした空間提案力が求められます。お客様の人生と共に歴史を重ね、愛着を持ってご使用いただきたく、世代を超えて100年後も受け継がれるような家具でありたいのです。価格に見合う価値や豊かさをお伝えするには、お客様に寄り添った、質の高い接客スキルが求められます。そこで社員の接客力向上に取り組むため、まず私を含めた管理職3人が、2020年に「一般社団法人 日本接客リーダー育成協会認定 ビジネスマナー講師」資格を取得しました。現在、全社員の人材育成教育に携わると共に、社員一人ひとりの存在価値を高める取り組みにも尽力しています。

人材教育に携わり新たな道を切り拓く。 — ターニングポイント —

店長になったばかりの頃の私は、歴代店長の輝かしい実績と自分を比較し、責任の大きさや売上目標に対する不安などからスタッフとの信頼関係づくりに悩んだり、自分の在り方を見失ったりしていました。同僚や上司に相談すると「もっと力を抜きなさい」とアドバイスしてくださるのですが、具体策が分からず途方に暮れるばかり。その上、2017年頃から東京でのブランド認知度が高まり、一流の接客に親しむ機会の多いお客様のご来店が増加しました。当社の接客に対する期待度も上がっていると肌で感じるようになり、「スタッフの接客の質を向上させたい」「接客でブランド価値を高めたい」と考えるようになりました。そこで、当時の上司に相談したところ、私の思いを理解くださり、外部講師をお招きしたビジネスマナー研修が実現。その後も定期的に研修が行われ、学んだことを生かそうとスタッフに接客指導していましたが、今度は「正しいことを伝えているのか？」と疑問が生じたのです。「接客について正しく論理的に学びたい」「自分も講師になって笑顔を広められるような人間になりたい」と思い始めた私は代表に相談。ちょうど代表も「接客の質を高めたい」と考えておられたことから、全面的な支援を得て講師の資格を取得することができました。

「お客様に笑顔になっていただきたい」と願う接客の輪を、さらに拡大。

2020年から店長業務と並行して、新入社員研修に加え、全店舗スタッフ150名を対象とした月1度のオンライン接客指導やフォローアップを実施しています。定期的に指導することで日々の接客意識を高め、全体の接客レベルの向上を図っています。リモートで直接会えなくても、スタッフの接客の質が上がると必然的に業績が向上していくので、スタッフの成長を数字で実感できます。スタッフ一人ひとりが正しいビジネスマナーを身につけることで印象力と信頼度が向上し、さらに、2021年からはビジネスマナー講師として、社外における人材育成事業を展開することになりました。新たな可能性にチャレンジできることは大変幸せなことであり、やりがいを感じています。今後は社内の有資格者数を増やし、全体的な接客レベルを上げ、将来的には「AKASE人材育成学校」開校という構想を描いています。今後もチャレンジを楽しみながら常に学び、学びを生かすことで自分を磨いていきたいと思っています。



**ポジティブに挑戦し学び続ける
働きながら、好きな接客を極め、
たくさんの人に喜んでいただく。**

私は、お客様の笑顔や豊かさに貢献できる接客の仕事が好きです。大切にしていることは、笑顔であること、何事もポジティブであること、チャンスにチャレンジすること、学び続けること。私は、正しいビジネスマナーや接客を身につけることで自分に自信を持つことができました。毎日が楽しくなり、自分という人間を確立でき、人格が磨かれ、新たな道も拓けたのです。今後も自らに自信を持ってイキイキと楽しく、人材育成に励みます。



**役職が自分や部下の可能性を広げる
スタッフの成長を実感できることが
自分のやりがいや原動力になる。**

私は店長になって人材育成という仕事に出会い、自分の可能性を広げることができました。人材育成は、やりがいの大きな仕事です。私は、人の可能性は無限大で、会社は個人の可能性を最大限に発揮させてくれる「環境」だと思っています。だから社員を育成する側として環境づくりを意識し、諦めず、きめ細かく丁寧に教え続けることが大切だと思います。そして信頼関係を築けたら部下の成長が喜びになり、自分の励みにもなると思います。



**寺社仏閣を巡ってリフレッシュ
時代を超えて受け継がれた建築物や
構造物に親しみ、パワーを感じる。**

アンティーク家具やヴィンテージ家具など、長い年月を経て何世代も受け継がれてきたような古いものが好きです。同じような理由で、歴史ある建築物の構造や、職人による細かな手仕事や細工を見るのも好き。そのため休日には、お気に入りの御朱印帳を持って寺社仏閣を巡ることが多いです。私のパワースポットは吉備津彦神社。参拝すると気持ちがすっきりして元気が出ます。春と秋の年2回は遠出をしてリフレッシュすると決めています。

ある1日のスケジュール

- ★6:30 起床、身支度、コーヒーを飲む
- ★7:45 家を出る
- ★8:30 出社、メールチェック
- ★8:55 ラジオ体操、環境整備
- ★9:35 朝礼、開店業務
- ★10:00 開店、業務
- ★13:00 昼食
- ★14:00 業務
- ★17:30 閉店業務
- ★18:00 閉店
- ★18:20 退社
- ★19:00 帰宅
- ★20:00 夕食
- ★22:00 入浴
- ★23:00 自由時間(ストレッチなど)

24:00 就寝



AKASE株式会社
マスターウォール
ファクトリーショップ店長
/プロフェッショナル課
稲田 しのぶさん
42歳

[将来の夢]
公私ともに充実させ、笑顔で幸せを感じ続けたい。
[オススメの本]
『プロの接客/接客戦略コンサルタント』藤村純子

[自分磨き術]
筋トレ・料理
[休日の楽しみ方]
パワースポットめぐり
[リラックス法]
好きな人と好きな場所で好きな時間に好きなことをする。

【部下からの一言】

入社以来、接客やビジネスマナーなど、稲田さんご指導を受けています。稲田さんご自身がとても勉強家で、スタッフの誰よりも明るく笑顔が素敵で、その姿を間近に見ながら生活できることで、私たちスタッフも勉強になります。稲田さんの接客を受けられたお客様は皆様、良い笑顔になります。私も稲田さんのような笑顔が広がる接客ができるようになりたいと思いつつ日々、勉強させていただいています。いつでも、どんなに相手でも、お客様だけでなくスタッフに対しても笑顔で接してください。私が失敗した時も改善した方が良い点を具体的に指示して気づかせてくださり、対処の仕方も教えてくれる。いいところは、すぐ褒めてくださるので頑張ろうという気持ちになります。(店舗スタッフ 岸野真実さん)

取材協力: AKASE株式会社
本社所在地: 浅口郡里庄町新庄1550
HP: <https://www.akase.co.jp/>





ホテル業務で培った知識や人脈も若手につなげていきたい。

レベニュー業務とWebセールス業務により顧客満足度と収益増に貢献。

「ANAクラウンプラザホテル岡山」は、世界最大級のグローバルホテルチェーンIHGホテルズ&リゾーツの一員として、「すべてのお客様に真のホスピタリティを提供すること」をお約束し、世界中から多くのお客様をお迎えしています。私は現在、レベニューアナリストとWebセールスマネージャーを兼務しています。レベニュー業務は、お客様の動向や満足度のデータを分析し、数字から見えてくるビジネスチャンスをセールsteamに示し、アクションやプランを提案することで顧客満足度の拡大と収益の最大化を図る仕事です。IHG本部や、当ホテルのフロント、予約、営業、レストランなど各部署と連携しながら、価格設定やマーケット販売戦略などを調整する役目も担っています。また、調査分析のほかに収益管理、イベントやコンベンション情報の収集、官庁や商工会などとの連携・相互情報提供、競合ホテルのモニタリングなども行います。同時に、Webセールス部門(海外OTA、国内OTA)のマネジメントを担当。新しい宿泊プランを作成したら会議で承認を得て、すぐ各部署と調整し、当日には販売を打ち出すなどスピード感を大事にしています。

(※OTA: Online Travel Agentの略。インターネット上で取引を行う旅行会社)

数字を扱う部署へ異動。 — ターニングポイント —

私は、ホテルのフロント業務に憧れて入社。宿泊予約係を経験した後、Web活用の高まりを受けて発足した「Webセールス部」の担当を打診され、新しいことに挑戦することが好きな性格なので喜んで受けました。グループホテルで同じ業務を担当されている方の元で研修を受け、希望いっぱい新しい業務に挑んだのですが、最初は売上目標にプレッシャーを感じ、「売れる」と思ったプランが売れなかったり、数字が落ちると自信を失ったりしました。そんな時、研修でお世話になったホテルの方からの「プランを打ち出したら反応を見てすぐに分析し、継続するか内容変更を行うなど、トライアンドエラーを繰り返し、スピーディーなアクションを心がけて」というアドバイスがとても頼りになりました。他のホテルで好評な宿泊プランを打ち出すことにも挑戦。すると徐々に自分で作成したプランや広告などへの反応が高まり、売上にも反映されてやりがいを感じ、仕事がどんどん面白くなっていきました。2018年からレベニュー業務を兼務することになり、Webの仕事の後輩に引き継ぎながら、新しい業務の研修を受けました。2018年西日本豪雨災害時の利用客数減少、2020年の緊急事態宣言期間中の大幅な予約減少など、想定外の事態を経験。前年データが全く通用しないため、直近データの洗い出しや分析を行い、先々の利用予測を作成しました。社内で話し合い、人件費や経費などを調整しながら状況に応じて柔軟に対応していく中、コロナ禍の2020年に企画した「駐車場付き・2食付きホテルステイプラン」がヒット。どんな場面でもデータを正しく活用できれば攻める機会があることを証明でき、ホテルの経営にも貢献できたことで改めて仕事のやりがいを実感できました。

知識を後輩に引き継ぐことが会社の財産となり、自分の未来につながる。

Webセールスの仕事については、立ち上げから長い間1人で対応してきたので、それぞれの作業に期限を設定し、スケジュール管理の徹底を心がけてきました。業務の研修で知り合った、全国のグループホテルの担当者との情報交換を頻繁に行い、課題やトラブルに直面した場合は相談するようにしてきました。インターネット上で旅行プランを販売している海外・国内OTAサイトの担当者とコミュニケーションを取り、マーケット状況やエリアの動向など、データ以上のヒントを得ることも大切にしてきました。今後も、収集分析したデータをもとにビジネスチャンスを探し、スピード感を持って、お客様に喜んでいただけるような新プランを続々と販売していきたいと思っています。一方、このように当ホテルでは自分しか担当できていない業務があるので、自分の知識を後輩に教え、引き継ぐことが私の使命だと思っています。それが当ホテルの財産になり、さらに、今後も新しい業務に挑戦をしていきたい私にとってもプラスとなると考えています。



データと分析をもとに意見を伝える
管理職の会議やミーティングに出席し、数字に基づいた自分の意見を発信。

私が後輩に伝えたいことは「相手に関係なく、自分の意見を積極的に発信することでキャリアが開ける」ということ。私の場合は、必ず自ら分析したデータを添え、数字と情報、エリアの状況などを俯瞰的に捉えた、明確な根拠に基づいて発言しています。週1回の会議でも、営業データを分析し、マーケット資料と合わせて会議前日に参加者全員に配信。その数字に基づき、今後の売り上げ予測を示して次のアクションを提案しています。



人とのつながりを大切にすること
グループ企業のワークショップで同じ職種の仲間とつながりを持つ。

仕事の悩みや課題は、1人ではなかなか解決できません。だからこそ、全国のホテルで同じレベニュー業務に携わる先輩や仲間から情報をいただくこと、他の人とつながりを持つことが大切だと実感しています。私の場合は、系列ホテルのワークショップや研修に参加し、西日本エリアを中心に各地の担当者とながらつながりを作ってきました。悩みを共有するほか、好評なプランの内容を聞くなど互いに情報交換しています。



ON・OFFの切り替えが大切
プライベートを充実させることが仕事の充実につながります。

仕事を充実させるには、プライベートを充実させることが大切だと思います。私は、美味しいものを食べることが大好きなので毎晩、SNSを使って「行きたい旅行先・店」「食べたいもの」などの情報を収集し、友達と休日の計画を積極的に立てています。旅先でホテルに泊まるとアメニティをチェックしたり、フロントの案内を参考にしたりして、「いいな」と思ったら取り入れるなど、プライベートの中こそ発見があると思います。

ある1日のスケジュール

- ★7:00 起床、朝食
- ★7:50 家を出る
- ★8:30 出社、メールチェック、データ送付
- ★9:00 分析作業、資料作成
- ★13:00 昼食
- ★14:00 リモート会議、業者と打ち合わせ、本部と電話会議、企画作成
- ★19:00 退社
- ★19:30 帰宅
- ★20:00 夕食
- ★21:00 入浴・美容タイム
- ★22:00 SNSで情報収集

23:00 お弁当準備、就寝



ANAクラウンプラザホテル岡山
(株式会社レイ)

レベニューマネジメント

池田 祐子さん

36歳

[オススメの本]
『エッセンシャル思考』
グレッグ・マキューン
[休日の楽しみ方]
近場に出かける。旅行。

[自分磨き術]
エステ通い。白湯を飲む。
グルテンフリーの朝食で体調
リセット
[リラックス法]
おいしいものを食べる。

【部下からの一言】

私はレストランサービス担当からレベニュー担当に異動し、この1年間、池田さんの完璧な仕事ぶりを見ながら「池田さんに少しでも近づきたい」という思いで、全てをお手本にして励んできました。右も左も分からなかった私をゼロから育ててください、同じことを何度も質問しても嫌がらずに教えてくださる池田さんを尊敬しています。これからも池田さんと一緒に頑張りたいのでよろしくお願いいたします。(レベニューアナリスト 吉井優佳さん)

取材協力: ANAクラウンプラザホテル岡山(株式会社レイ)
所在地: 岡山市北区駅元町15-1
HP: <https://www.anacpokayama.com/>

